



日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises

入場無料
entrée libre
日仏同時通訳付
Interprétariat
simultané

日仏討論会
DÉBAT FRANCO-JAPONAIS

市民と企業 私たちの選択が未来を変える

**Consom'acteurs, prod'acteurs :
soyons le changement !**

2018. **11.13** (火) **19:00 – 21:00** [開場18:30]

アンスティチュ・フランセ東京 エスパス・イマージュ

le 13 novembre 2018 / 19h-21h (ouverture des portes à 18h30)

Institut français du Japon-Tokyo, espace images



市民と企業 私たちの選択が未来を変える

Consum'acteurs, prod'acteurs : soyons le changement !

気候変動問題は喫緊の課題です。しかしパリ協定合意から3年を経て尚、交渉の行方はアメリカの脱退表明により不透明となっています。気候変動に関する政府間パネルの最新報告書は、産業革命前の水準から1.5度の気温上昇に留めることは、各国の真剣な努力を条件に、可能性はまだ残るとしています。政府の取り組みが前進するためには、社会全体が変化のために行動しなければなりません。企業は目先の利益を優先し、市民は地球規模課題を前に無力感を覚えがちです。そのような中、各地で様々なイニシアティブが生まれています。

国連の持続可能な開発目標 (SDGs) に積極的に取り組む企業や、地域に根差す新たな消費の形などです。これらのイニシアティブに焦点をあて、在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本は毎日新聞社との共催で11月13日に「市民と企業——私たちの選択が未来を変える」をテーマに討論会を開催します。日仏の登壇者が、責任ある消費や持続可能なエネルギーについての事例を交換し、一人ひとりが行動することの大切さを考えたいと思います。企業で働く皆様、環境のために行動したいと願う市民の皆様のご来場をお待ちしております！



パネリスト Panelistes



マエル・ギウー エネコープ欧州協力担当
Maëlle GUILLOU, chargée de projets, Enercoop

政治行政学院、ロンドン環境社会科学ユニヴァーシティ・カレッジ卒業後、2012年フランス唯一の100%再生可能エネルギーの電力会社 Enercoop に入社。同社は2005年の創業以来、再生可能エネルギーの普及発展とエネルギー問題を市民の手に届くものとすることを使命とし、流通コストカットを方針としています。100%再生可能エネルギーによる電力の自給自足と、環境負荷の少ない社会を目指す。環境移行のための市民団体と欧州協力連盟の副会長も務める。



末吉里花 一般社団法人エシカル協会代表理事
Rika SUEYOSHI, directrice de Ethical

慶應義塾大学総合政策学部卒業。TBS系『世界ふしぎ発見!』のミステリーハンターとして世界各地を旅した経験を持つ。フェアトレードやエシカルを中心に活動を展開し、日本全国の企業や自治体、教育機関などで講演、各地のイベントでトークショーを行う。著書に『祈る子どもたち』(太田出版)、『はじめてのエシカル』(山川出版社)。東京都消費生活対策審議会委員、日本エシカル推進協議会理事、日本サステナブル・ラベル協会理事、NPO法人FTSN関東顧問、1% for the Planet アンバサダー、ピープルツリーアンバサダー、日本ユネスコ国内委員会広報大使。



エレヌ・ピネ 環境ジャーナリスト
Hélène BINET, journaliste

20年前よりジャーナリストとして持続可能な発展、責任ある消費、環境問題を追及している。市民を啓発し、行動へと駆り立てる手法で10冊近いガイド本を執筆する。2011年より地方の生産者と消費者を直接つなぐ組織 La Ruche qui dit Oui! の広報責任者を務める。25万人の読者を擁する Oui! Magazine の統括編集者でもある。

司会 Modératrice



元村有希子 毎日新聞科学環境部長
Yukiko MOTOMURA, directrice du département sciences et environnement du journal Mainichi

1989年入社。2001年科学環境部。日本の科学技術の現状を掘り下げた「理系白書」で06年の科学ジャーナリスト大賞。著書に「科学のミカタ」「理系思考」など。テレビ出演、授業、講演多数。



佐藤多加子
株式会社リコー サステナビリティ推進本部審議役
Takako SATO, directrice du département soutenabilité au sein de RICOH

1987年入社。画像機器製品の設計業務を経て、1999年に環境部門(現サステナビリティ推進本部)に異動、環境経営の実践を始める。環境経営の4本柱として、温暖化防止分野・省資源分野・汚染予防分野・生物多様性保全分野を掲げ、各分野に方針、目標を設定し、製品・事業(工場、オフィス)の環境負荷低減を推進。温暖化防止分野・省資源分野では、2030年・2050年の環境目標を設定し、目標達成に向けてリコーグループ拠点の脱炭素活動、新規投入資源の削減を行う資源循環活動を強く推進している。



辻信一 明治学院教授
Shinichi TSUJI, professeur à l'Université Meiji-gakuin

環境運動家、明治学院大学国際学部教員。カフェゆくり堂(横浜市戸塚)店主。1999年にNGO「ナマケモノ倶楽部」を設立、以来その世話人を務める。「スローライフ」、「100万人のキャンドルナイト」、「ハチドリの一とずく」、「QNH(国民総幸福)」などの環境文化運動を提唱、2014年、「ゆくり小学校」を開校。著書に『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、ゆくりノートブックシリーズ(全8巻、大月書店)、『ナマケモノ教授のぶらぶら人類学』(SOKEIパブリック)など。映像作品にDVDシリーズ「アジアの叢智」がある。

開会の挨拶 Ouverture

ローラン・ピック 駐日フランス大使
Laurent PIC, Ambassadeur de France au Japon

小野洋 環境省大臣官房審議官
Hiroshi ONO, directeur général adjoint, Ministère de l'Environnement du Japon

閉会の言葉 Clôture

野田由美子 ヴェオリア・ジャパン株式会社代表取締役
Yumiko NODA, PDG de Veolia Japon

会場・お問い合わせ Lieu / Renseignements

アンスティチュ・フランセ東京 Institut français du Japon - Tokyo
〒162-8415 東京都新宿区市谷船原町15 / Tel. 03-5206-2500
www.institutfrancais.jp/tokyo

入場無料 | 席座に限りがあるためオンライン登録をお勧めします。

Entrée libre | inscription recommandée sur
www.institutfrancais.jp/sdg/

